

小中学校の教室におけるエアコン設置について

佐藤 龍彦



〔質問〕本市の小中学校の普通教室では、どのような暑さ対策がとられているのか伺う。

〔答弁〕「教育長」各学校において、扇風機を全て設置している。

加えて、白石第二小学校には各棟東側、西側に遮光性のあるロールスクリーンを設置している。

〔質問〕教室内の温度測定などの調査を行っているのか伺う。

〔答弁〕「教育長」教室内の温度及び湿度調査については、平成26年に実施している。

本年の暑さを受け、今年度は夏休み明けに全小中学校において調査を行い、測定結果の概

要としては、非常に暑い時期は過ぎていたが、白石第二小学校、福岡小学校の気温、湿度ともに幾分高い結果となり、また、総じて2階、3階の教室も気温は高い傾向にあった。

〔質問〕全ての普通教室にエアコンを設置した場合、予算はいくらになるのか伺う。

〔答弁〕「教育長」現在、市内小中学校の普通教室は116室あり、費用は約2億円を見込んでいます。

◎市営住宅について
〔質問〕市営住宅の現状について、市はどのように認識をしているのか伺う。

〔答弁〕「建設課長」市営住宅は、住宅に困窮する低額所得者に対し低廉な家賃で住宅を提供することにより、市民生

活の安定と社会福祉の増進を図る重要な施設と認識している。

現在、市の管理する住宅の現状は、一般住宅357戸のうち、28戸が空き家となっている。

また、新たな入居者を募集しない空き家については、主に政策空き家として市が管理をしているが、政策空き家は全部で160戸あり、そのうち空き家は79戸である。戸建てについては順次解体しているが、長屋については全員退去後、解体する予定となっている。

〔質問〕今後、市営住宅の建てかえ、新築の考えはあるのか伺う。

〔答弁〕「市長」市営住宅を安全で快適な住まいとして長きにわたって確保するため、長寿命化を図っていききたい。

現時点では建てかえ及び新築の計画はない。

◎その他の質問
〔その他の質問〕危険なブロック塀の除去について

消防団について

伊藤 勝美



〔質問〕消防団員は、本業を持つ傍ら、市民の生命と財産を守るため厳しい訓練を行い、通常火災はもちろん、ゲリラ豪雨や風水害などの災害時にも迅速に対応していただいております。本市の地域防災力の中核として必要不可欠であると考えます。

本市では消防団の装備充実はどのように改善してきたのか、また、今後どのように進めていくのか伺う。

〔答弁〕「危機管理課長」最近の配備の状況については、平成28年度に全団員の雨がっぱを配備し、平成29年度に各分団の全班に各2着の防火衣を追加配備した。

消防ポンプは、平成28年度に2台、平成29年度に3台更新し、消防ポンプ積載車は、平成28年度、29年度ともに3台の更新を行い、毎年、消防団装備の計画的な更新と充実に努めている。

〔質問〕昨今、集中ゲリラ的な豪雨が各地で発生しているが、ライフジャケットやチェンソー等の装備についてはどのように考えているのか伺う。

〔答弁〕「危機管理課長」消防団の装備の基準に基づいて、国、県の補助金等を活用しながら、今後、整備に努めていきたいと考えている。

〔質問〕消防団は、地域を守る崇高な使命感を持って活動を行なっている。団員の年額報酬、活動に対する費用弁償等

について、その職責と日頃の苦勞に報いるためにも、報酬額の引き上げに取り組んでいただきたいと思うが、見解を伺う。

〔答弁〕「市長」平成27年3月に改定を行なっており、現在のところ改定の考えはない。

◎本市の文化財等について
〔質問〕本市の郷土歴史資料を収集保存する資料館の建設事業の財源とするため、基金を設けているが、今後における郷土資料館の建設等の見解を伺う。

〔答弁〕「教育長」現在のところ、建設に向けて市内外の資料所在調査、収集を実施している段階であり、具体的な建設時期、場所、規模に関しては未定である。

◎河川の防災対策について
〔その他の質問〕

◎公共工事発注金額の表示について